



絆を深め、様々な課題を解決して、誰もが生き活きと暮らす芳田の里

# 芳田自治協議会だより

2026年5月  
NO. 51

編集・発行：芳田自治協議会 芳田の里ふれあい館内  
☎ 27-0066 e-mail:houtajichikyou@outlook.jp



## 絆を深め 様々な課題を解決して 誰もが生き活きと暮らす芳田の里に

芳田自治協議会会長 松山 秀樹


新緑が風に揺れる爽やかな季節となりました。芳田地区の皆様には常日ごろから芳田自治協議会の活動にご理解とご支援をいただいていますこと誠にありがとうございます。

芳田地区においても少子高齢化に伴う人口減少により地域の活力が失われつつあり、生活の安全安心を守るインフラや防災力低下も大きな問題となりつつあります。このような現状に対し、本年度も芳田自治協議会は芳田地区の皆様のご協力を得ながら、多くの課題解決の拠点となるコミュニティセンター建設の具現化と下記の5点に重点を置いて事業を進めます。

- 芳田自治協議会は発足して6年目を迎える。その活動は芳田地区内から地区外へと活動範囲を次第に広め、年々充実したものになりつつある。昨年度は「芳田地区まちづくり計画作成委員会」を立ち上げ、芳田地区の皆様の思いや課題を探るため「芳田地区住民アンケート」を実施した。本年度はこの住民アンケート結果をもとに10年、20年後の芳田の姿を見据えたまちづくりを行うための指針となる「芳田地区まちづくり計画」を作成する。
- 芳田自治協議会発足以来、住みよさを実感でき、すべての活動の拠点となる「コミュニティセンター」の建設に向けた取り組みを積極的に進めてきた。本年度も引き続き住民誰もが気軽に活用でき、様々な課題に対応できる「コミュニティセンター」の建設に向けた取り組みを一層進める。
- 芳田地区の活性化や生活の向上をめざすため、本年度も芳田自治協議会と芳田地区区長会がより連携を密にして取り組みを行う。部会や委員会においても今まで以上に連携を強化し、その活動を充実させていきたい。また、西脇市や兵庫県、大学、企業等とも連携を深めるとともに、芳田地区内外の多くの方々の協力や支援を得ながら交流人口や関係人口の増加に向けた取り組みを進める。
- 芳田地区住民一人ひとりが芳田地区の課題を共有し、楽しく進んでまちづくり活動に参加できるように努める。特に女性や若い世代の思いを芳田自治協議会の活動に反映できるように配慮するとともに、自主的に活動に参画できる環境を整える。
- 部会や委員会等の会議時間や会議回数、行事や活動内容等の見直しを行い、会員相互の負担感の軽減に努める。

## 2026年度芳田自治協議会役員・理事紹介

芳田自治協議会総会で下記の通り今年度の役員・理事が承認されました。

会 長	松山秀樹(岡崎町)		
副会長	八重 誠(上王子町)	足立八束(出会町)	
	増岡宏之(水尾町)	長尾明子(明楽寺町)	
	内橋靖弘(合山町)		
会 計	林田明雄(落方町)		
監 査	仲田保弘(水尾町)	丸山善彦(八坂町)	
理 事	内橋 実(八坂町)	荒木 薫(落方町)	荒木康宏(明楽寺町)
	内橋英昭(水尾町)	坂部 修(岡崎町)	内橋雅敏(合山町)
	藤原秀昭(出会町)	内橋紀裕(八坂町)	小牧 毅(新合山)
	北野真弘(新合山)	宇仁菅通子(明楽寺町)	佐藤敬生(落方町)
	古家幹也(水尾町)	藤原栄子(出会町)	内橋和宏(八坂町)
	内橋智弘(水尾町)	内橋慎介(合山町)	森川元良(岡崎町)
	内橋孝太(合山町)		

《理事は各町区長と部会の正副部会長》

## 芳田自治協議会が重点的に取り組むべき事業は

芳田自治協議会が重点的に取り組むべき事業は何か、住民アンケートのクロス集計によって年代ごとの数値を出してみると、各年代の特徴がよくわかりました(赤字は50%以上の回答)。

	子ども・子育て支援	高齢者支援	農地の維持管理	災害対策	空家対策・移住促進	芳田の魅力づくり	交流事業の拡大	関係人口増
10代	25% (1件)	25% (1件)	75% (3件)	25% (1件)	25% (1件)	50% (2件)	0% (0件)	0% (0件)
20代	36% (12件)	15% (5件)	18% (6件)	18% (6件)	21% (7件)	24% (8件)	12% (4件)	9% (3件)
30代	64% (25件)	33% (13件)	15% (6件)	21% (8件)	31% (12件)	31% (12件)	13% (5件)	21% (8件)
40代	41% (29件)	61% (43件)	38% (27件)	24% (17件)	48% (34件)	41% (29件)	10% (7件)	16% (11件)
50代	34% (35件)	53% (54件)	42% (43件)	21% (21件)	47% (48件)	29% (30件)	6% (6件)	16% (16件)
60代	37% (57件)	67% (103件)	44% (68件)	28% (43件)	41% (64件)	27% (41件)	9% (14件)	19% (29件)
70代	30% (54件)	65% (118件)	43% (78件)	31% (57件)	37% (67件)	27% (50件)	9% (17件)	14% (26件)
80代以上	27% (18件)	47% (32件)	32% (22件)	25% (17件)	34% (23件)	24% (16件)	4% (3件)	9% (6件)

## 芳田地区人口 1700人を割り込む

これまで芳田地区のことを地区外の方に紹介する時、人口は1700人ちょっとと説明してきましたが、そのようにいえなくなってしまいました。

2015年には芳田地区人口は2000人を越えていました。ところが、市が公表している人口集計表によると、4月1日現在の芳田地区人口は1692人で、この数字には芳田に住んでおられる外国人の数71人も含まれています。10年間で300人ほどが減ったということです。10年先、20年先、芳田はどうなっているでしょう。

すでに子ども会のない町があります。消防団の団員確保がむずかしくなってきました。人口が減っても、家や田畑が減るわけではありません。空き家は増え、少なくなった人数で農地の維持管理をしていかなければなりません。2030年には芳田小学校は廃校です。

このように人口減少のマイナス側面だけを見れば、芳田に明るい未来はありません。しかし、お先真っ暗だと下を向くのはやめましょう。

芳田の拠点となる新たなコミュニティセンターが建設されます。芳田で農業をしたいという若者が何人か現れています。芳田に魅力を感じて移

住、二地域居住された方がいます。芳田歩こう会や芳田ピクニッククラブのような自発的なグループが誕生して交流を深められています。芳田の里ふれあいフェスタには1600人が集い、みんなで楽しみました。芳田を訪れる地区外の方が多くなり、関係人口も増えました。このような芳田の動きに他地区の方は注目しています。

たとえ人口が減っても、みんなの知恵と力を合わせ、「誰もが生き生きと暮らす芳田の里」をめざしてがんばれば、明るい未来は必ず創り出せると思います。芳田自治協議会はこれからもみなさんの先頭に立っていろいろな事業を展開していきます。

芳田地区人口

町名	男	女	合計	世帯数
落方町	75	83	158	67
明楽寺町	147	193	340	156
水尾町	138	168	306	138
岡崎町	123	125	248	114
上王子町	19	12	31	16
合山町	65	80	145	62
新合山	159	78	237	146
出会町	60	43	103	53
八坂町	39	38	77	41
みぎわ園	3	21	24	24
いずみ寮	2	21	23	23
合計	830	862	1692	840

市の公表資料をもとに作成

## ビニルハウス お花屋kukkaが引き継ぐ

夢うさぎの活動拠点であったビニルハウスはお花屋kukkaを運営されている谷口千穂さんが引き継がれることになりました。今後、谷口さんは譲り受けたビニルハウス内で花苗を育てたり、花や植物のアレンジや草木染めなどをされたりするそうです。また、子どもや地元向けに花や植物に係るワークショップを開催することも考えられています。谷口さんの取り組みはインスタグラム(ohanaya.kukka)で公開されています。



谷口さんの作品

# ほうた自然学校 開校

4月11、18日の両日、ほうた自然学校の開校式があり、いよいよ活動がスタートしました。このほうた自然学校には41組101名(大人41 子ども60)が参加。募集からすぐ定員に達するほどの人気で、何組かは参加を断らざるをえませんでした。



11日の開校式



たけのこ掘りに挑戦

## 芳田地区5月の予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	金		17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	
4	月		20	水	区長会 19:00~
5	火		21	木	
6	水		22	金	まちづくり計画作成委員会 19:00~
7	木		23	土	
8	金		24	日	交流農園
9	土		25	月	
10	日	芳田小学校PTAリサイクル活動	26	火	自治協役員会 19:00~
11	月		27	水	
12	火		28	木	
13	水		29	金	
14	木		30	土	日本家屋大掃除大会(落方町) 19:00~
15	金		31	日	
16	土				

